

9月定例議会

行政報告 (1)

平成30年9月定例議会は、9月11日に開会し、10月10日までの会期で開かれています。

議会初日には、行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また、13日と14日には一般質問が行われました。18日からは各常任委員会で付託された議案を審査したほか、25日からは各決算特別委員会に付託された議案を審査し、10月10日の最終日に採決が行われる予定です。

9月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

平成30年度職員採用試験は、大学卒業程度一般行政職に23人の応募があり、7月22日に秋田県J・Aビルで第1次試験が実施されました。また、高校卒業程度一般行政職及び土木技師には、あわせて11人の応募があり、9月16日にノースアジア大学で第1次試験が行われました。

6月27日の大雨・強風により坊沢地区で約60戸の停電が発生しました。また、強風により市道11か所、国道・県道で3か所の倒木があり、阿仁地区で一時倒木による通行規制が発生しましたが、いずれも即日にも復旧・規制解除されています。

株式会社東光ホールディングスと「災害時等における無人航空機を活用した支援活動等に関する協定」を

7月25日に締結しました。この協定は、市内において自然災害や大規模事故、鳥獣被害等、緊急の事態が発生した場合において、無人航空機を活用した支援活動等を円滑かつ適切に実施することを目的としています。

8月15日から16日に発生した大雨は、24時間雨量最大235ミリを超える記録的な豪雨となり、市内全域に土砂災害の危険性が高まったことから、市内全域を対象とした避難準備・高齢者等避難開始情報を発令し、市内6か所に避難所を開設しました。自主避難者は、2世帯8人でした。また、床下浸水1棟ほか道路、河川、農地・農業用施設、林道など計12か所の被害が確認されています。（被害調査継続中）

秋田県総合防災訓練が、9月2日に鷹巣地区一円及び大館能代空港、北秋田市民病院を含む5会場で、市

民、防災関係機関、団体等から1600人を超える参加者のもと開催されました。



▲避難所となった市民ふれあいプラザで居住スペースを作製した避難所開設運営訓練

■総合政策課

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業の効果検証を行うための「北秋田市総合戦略検証会議」が6月21日と7月26日に市役所で開催され、委員からは活発な質疑や提案が出されました。

市単独イベント「第1回北秋田市移住相談会inANDON」を、7月14日に東京都で開催し、3人が来場したほか、翌15日には東北U・イターナ大相談会に参加し、秋田県コーナーには152人が訪れ、近く本市への移住を希望する1組3人も含め移住相談にあたりました。

大館能代空港開港20周年記念式典が、7月18日に大館能代空港ビルで開催され、多くの関係者が一堂に会

し開港20周年を祝いました。

「北秋田市と一般社団法人全国空き家バンク推進機構（略称ZAB）」との空き家プロジェクトの推進に関する連携協定」を8月10日に市民ふれあいプラザで締結しました。今後は、本市の空き家をはじめとする空き資源をZABが持つ民間企業のネットワークと地元で実践する人材等をマッチングさせるための調査研究を進め、公民連携の新しい形として実証し、全国に発信波及させていく予定です。

「お盆だよ、移住相談会」を、8月12日と13日に市民ふれあいプラザで開催し、移住を検討している帰省者2組3人の移住相談にあたりました。

■内陸線再生支援室

秋田内陸地域公共交通連携協議会総会が、8月3日に阿仁庁舎で開催され、秋田内陸線を活用した観光客の誘致促進事業や秋田内陸線の利活用事業等の本年度事業計画並びに収支予算が提案され、承認されました。

財務部関係

■財政課

平成30年5月1日から7月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は67件、契約額は14億7755万4000円です。

地籍調査事業は、伊勢町の土地所有者への説明会を終え、立会いの協力をいただき、6月20日から対象面積0・11平方キロメートル、326筆の一筆地調査を実施しています。

■税務課

平成30年度の当初調定状況は、市民税の納税義務者数が1万4509人で、課税額は9億8714万1800円です。国民健康保険税は、課税世帯が5103世帯で、課税額は5億7660万2200円です。

市民生活部関係

■生活課

し尿処理施設建設は、7月11日に鷹巣字小沼地内で起工式が行われ、関係者約30人が工事の安全を祈願しました。

市民提案型まちづくり事業は、第3回目の審査委員会が7月12日に開催され、3団体が採択となっていました。なお、今年度は7団体が採択されており、それぞれが地域を元気にする活動を展開しています。



▲工事の安全を祈願した、し尿処理施設建設工事起工式

夏の交通安全運動が、8月1日から8月10日まで実施されました。運動の初日には、道の駅たかのすで綴子大太鼓を打ち鳴らしながらの「ルート7目覚まし大作戦」が行われ、通行車両の運転手に啓発品を手渡ししながら、事故防止を呼びかけました。

健康福祉部関係

■福祉課

第67回社会を明るくする運動は、7月8日に米代川花火大会の会場で、のぼりの設置やうちわ等の配布でPR活動を行いました。また、市民集会が7月30日に文化会館で行われ、約300人が参加し、犯罪や非行の防止を訴えました。

北秋田市戦没者追悼式を、8月17日に文化会館で開催しました。戦後73年を経て恒久平和の誓いのもと、関係者並びに遺族約200人が参列

し、北秋田市関係戦没者1700人余りの英霊の遺徳を偲び、黙とう・献花を行いました。

■高齢福祉課

敬老式対象者（75歳以上）は、7月1日現在で8241人おり、うち白寿該当者が22人、米寿該当者が399人、新敬老者が528人となっています。

介護保険の要支援・要介護認定者数が2703人（7月末）で、そのうち総合事業をあわせたサービス受給者が2618人、認定者数に対する受給率は96・86%です。

高校生を対象とした介護職員初任者研修が、7月21日から9月2日にかけて地域福祉センターで行われ、受講された12人が全員資格取得となりました。



▲資格取得を目指す、介護職員初任者研修

■医療健康課

母子保健事業として「思春期ふれ

あい体験学習」を実施し、鷹巣南中学校と阿仁中学校の生徒23人が参加して、乳児とのふれあいから子育て体験の学習を行いました。

食育推進事業は、小学校1年生対象の「食育ジュニア」を7月26日から31日に市内3会場で実施し、77人が参加しました。今後も幼少期からのよりよい食習慣の定着を図ります。

地域医療連携センター運営事業は、認知症部会、訪問看護部会を7月にそれぞれ開催し、地域包括ケアシステムの構築に向け、現状の課題解決への取り組みとして研修会やワークショップを開催していくことを話し合いました。

■診療所

5月から7月までの市立3診療所の外来患者数は次のとおりです。

阿仁診療所は、内科2217人で前年同期比増減なし、外科2375人で同70人減、歯科951人で同21人の増です。合川診療所は2057人で前年同期比174人の減です。米内沢診療所は、内科3548人で前年同期比168人減、小児科336人で同25人減、整形外科708人で同79人減、脳血管外科168人で同60人減、心臓血管外科29人で同5人の減です。